

# ダイワ／フィデリティ・アジア・ ハイ・イールド債券ファンド (通貨選択型)

日本円・コース(毎月分配型)  
ブラジル・リアル・コース(毎月分配型)  
アジア通貨・コース(毎月分配型)

第145期(決算日 2023年8月3日)  
第146期(決算日 2023年9月4日)  
第147期(決算日 2023年10月3日)  
第148期(決算日 2023年11月6日)  
第149期(決算日 2023年12月4日)  
第150期(決算日 2024年1月4日)

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先(コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00~17:00)

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

◇SKU0480420240104◇

<4804>  
<4805>  
<4806>

# ダイワ／フィデリティ・アジア・ ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型） 日本円・コース（毎月分配型）

&lt;4804&gt;

追加型投信／海外／債券  
日経新聞掲載名：ア・ハイ債円

第145期	2023年8月3日決算	第148期	2023年11月6日決算
第146期	2023年9月4日決算	第149期	2023年12月4日決算
第147期	2023年10月3日決算	第150期	2024年1月4日決算

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、アジアのハイ・イールド債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第150期末	基準価額	3,264円
	純資産総額	69百万円
第145期～第150期	騰落率	△5.3%
	分配金合計	110円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先

 コールセンター 受付時間 9:00～17:00(営業日のみ)  
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

UD  
FONT

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

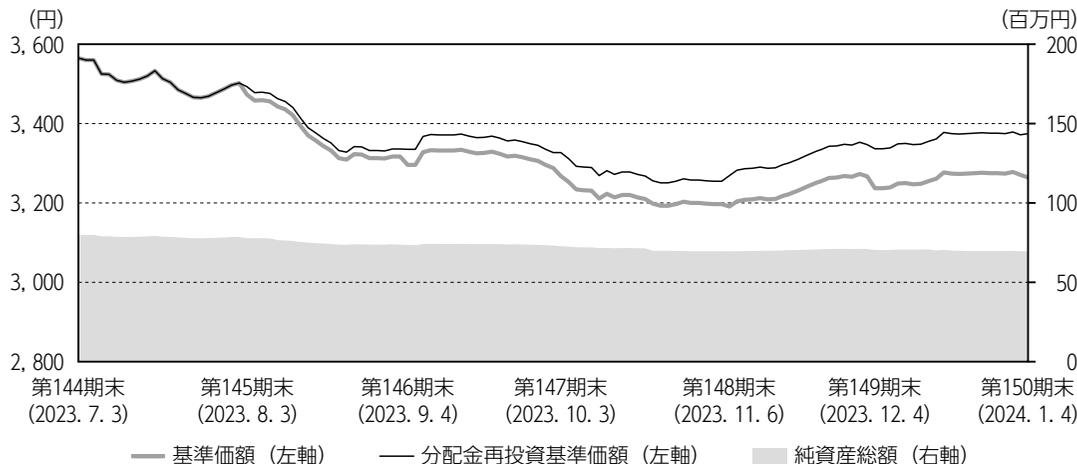
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

第145期首：3,565円

第150期末：3,264円（既払分配金110円）

騰落率：△5.3%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

主に「アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（日本円・クラス）」を通じてアジア・ハイ・イールド債券へ投資しました。アジア・ハイ・イールド債券市況は、当作成期後半にかけ

て回復しプラスリターンとなりましたが、当ファンドにおいては米ドル売り／日本円買いの為替ヘッジ・コスト等が主なマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

\* アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（日本円・クラス）：ダイワ・グローバル・トラストーダイワ／フィデリティ・アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド 日本円・クラス

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	第145期～第150期 (2023. 7. 4～2024. 1. 4)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	20円	0.600%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>当作成期中の平均基準価額は3,316円です。</b>
（投 信 会 社）	(6)	(0.195)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(13)	(0.390)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	20	0.604	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

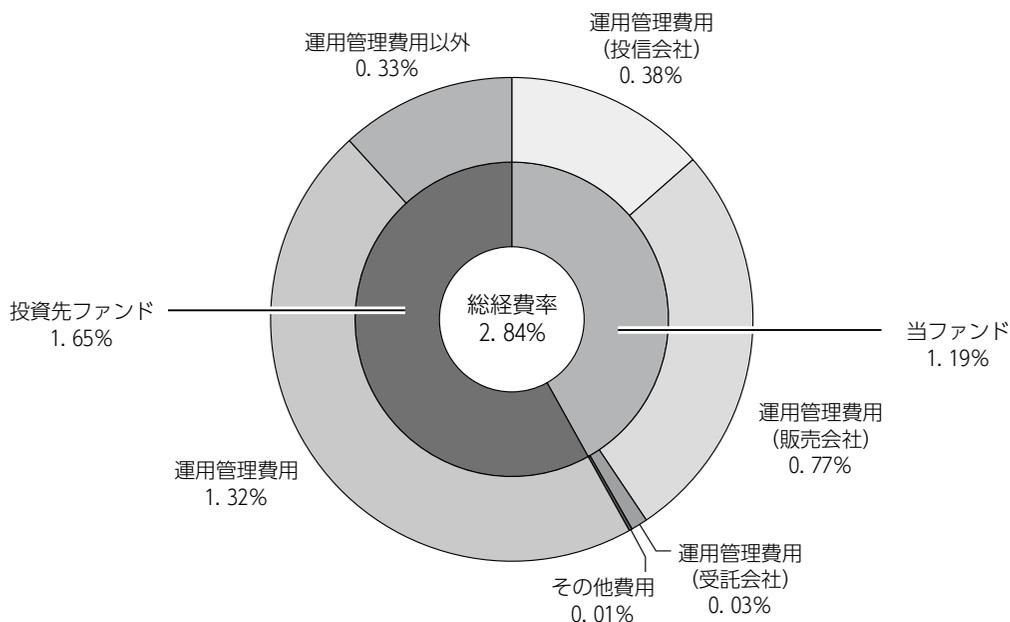
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.84%です。



総経費率（① + ② + ③）	2.84%
①当ファンドの費用の比率	1.19%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.32%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.33%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

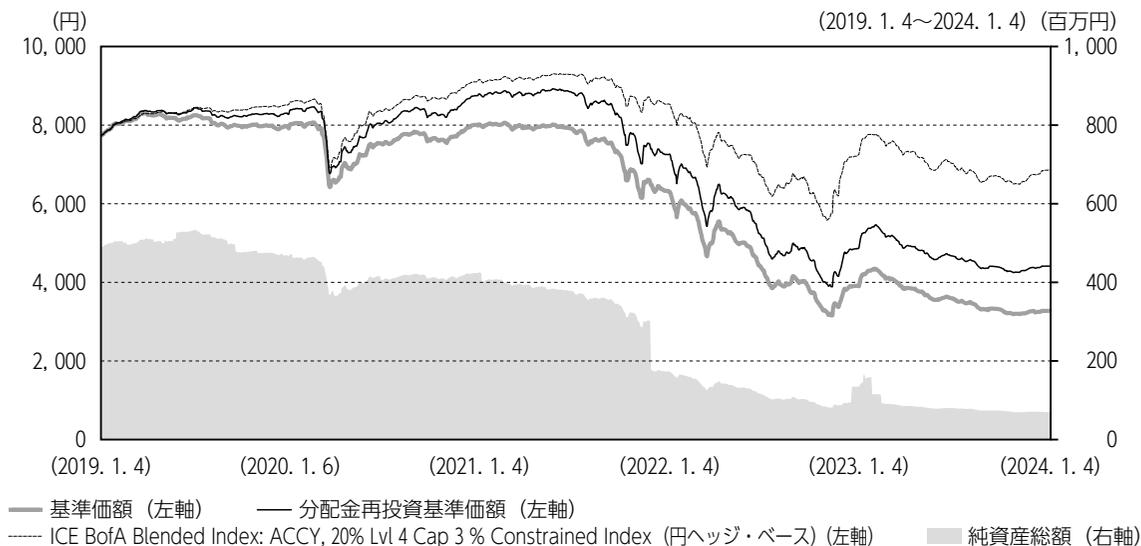
(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近 5 年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2019年1月4日の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 参考指数は ICE BofA Blended Index: ACCY, 20% Lvl 4 Cap 3% Constrained Index (円ヘッジ・ベース) です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

	2019年1月4日 期初	2020年1月6日 決算日	2021年1月4日 決算日	2022年1月4日 決算日	2023年1月4日 決算日	2024年1月4日 決算日
基準価額 (円)	7,741	7,915	7,985	6,298	3,900	3,264
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	360	360	360	360	280
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	6.9	5.8	△17.2	△32.7	△9.6
ICE BofA Blended Index: ACCY, 20% Lvl 4 Cap 3% Constrained Index (円ヘッジ・ベース) 騰落率 (%)	—	10.1	7.0	△6.4	△15.0	△5.3
純資産総額 (百万円)	489	465	423	172	134	69

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) ICE BofA Blended Index: ACCY, 20% Lvl 4 Cap 3% Constrained Index (円ヘッジ・ベース) は、ICE BofA Blended Index: ACCY, 20% Lvl 4 Cap 3% Constrained Index のパフォーマンスからヘッジコストを日次で差し引き大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

## 投資環境について

(2023. 7. 4 ~ 2024. 1. 4)

### ■アジア・ハイ・イールド債券市況

アジア・ハイ・イールド債券市況は上昇しました。

アジア・ハイ・イールド債券市況は、当作成期首から2023年8月下旬にかけて、中国の不動産大手企業の巨額赤字決算などを背景に中国で不動産信用問題が再燃したことや、主要経済指標が軟調となったことによる中国景気の先行き不透明感から、大きく下落しました。10月下旬にかけては、当局による追加の景気刺激策への期待などから一部値を戻す場面も見られたものの、米国長期金利の上昇や中東情勢の緊迫化を受けて地政学リスクが拡大したことが、投資家心理の悪化に繋がりました。その後は、習近平国家主席の訪米による米中首脳会談を受けて米中関係の改善期待が高まったことや、中国政府および金融当局による支援策への期待を背景に、当作成期末にかけて上昇しました。アジア・ハイ・イールド債券市場のスプレッド（国債との利回り格差）は、当作成期を通して見ると縮小しました。中国の景気減速懸念や米中関係の緊張継続など、不確実性が材料視されながらも、世界的な投資家心理の改善の動きの波及が見られました。トータル・リターン（現地通貨ベース）は、プラスとなりました。

### ■短期金利市況

日本では、日銀は政策委員会・金融政策決定会合で、「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策を維持しました。米国では、FOMC（米国連邦公開市場委員会）で政策金利が引き上げられました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

主に「アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（日本円・クラス）」への投資割合を高位に保つことによって、アジアのハイ・イールド債券からの収益を享受することをめざします。

### ■アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（日本円・クラス）

米ドル建てのハイ・イールド債券に投資し、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／日本円買いの為替ヘッジを行います。当ファンドの運用にあたっては、今後も銘柄やセクターの分散を図りながら高水準の利息収入の獲得をめざします。また、銘柄選択の際には、特に資金調達コストの動向、企業マネジメントのあり方等に注意を払って運用を行います。

## ■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2023. 7. 4 ~ 2024. 1. 4)

### ■当ファンド

当ファンドは、「アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（日本円・クラス）」と「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じて「アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（日本円・クラス）」への投資割合を高位に維持しました。

### ■アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（日本円・クラス）

米ドル建てのハイ・イールド債券に投資し、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／日本円買いの為替ヘッジを行いました。これまで同様に分散を図りながら、流動性とインカム（利回り収益）を重視した運用を行いました。

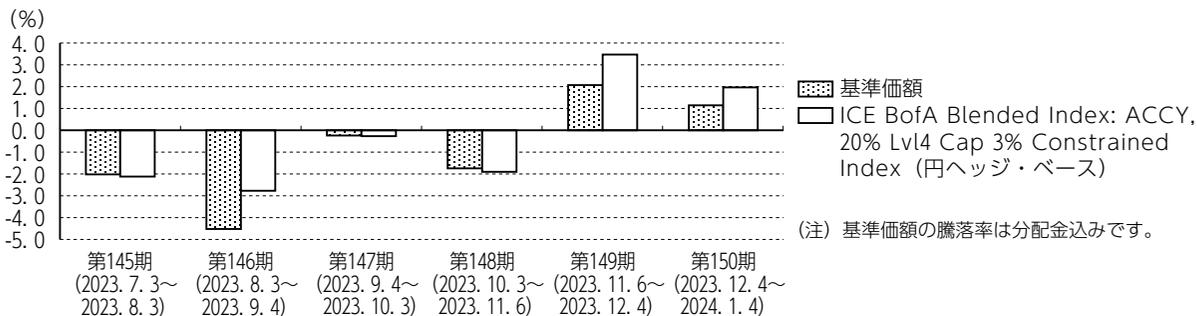
### ■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期	第150期
	2023年7月4日 ～2023年8月3日	2023年8月4日 ～2023年9月4日	2023年9月5日 ～2023年10月3日	2023年10月4日 ～2023年11月6日	2023年11月7日 ～2023年12月4日	2023年12月5日 ～2024年1月4日
<b>当期分配金(税込み) (円)</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>10</b>
対基準価額比率 (%)	0.57	0.60	0.61	0.62	0.61	0.31
当期の収益 (円)	2	0	0	—	3	2
当期の収益以外 (円)	18	19	19	20	16	7
翌期繰越分配対象額 (円)	385	366	346	326	310	302

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

### 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期	第150期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 2.00円	✓ 0.20円	✓ 0.54円	0.00円	✓ 3.49円	✓ 2.48円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 403.95	✓ 385.95	✓ 366.15	✓ 346.70	✓ 326.70	✓ 310.20
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	405.95	386.15	366.70	346.70	330.20	312.69
(f) 分配金	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	385.95	366.15	346.70	326.70	310.20	302.69

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

主に「アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（日本円・クラス）」への投資割合を高位に保つことによって、アジアのハイ・イールド債券からの収益を享受することをめざします。

### ■アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（日本円・クラス）

米ドル建てのハイ・イールド債券に投資し、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／日本円買いの為替ヘッジを行います。当ファンドの運用にあたっては、今後も銘柄やセクターの分散を図りながら高水準の利息収入の獲得をめざします。また、銘柄選択の際には、特に資金調達コストの動向、企業マネジメントのあり方等に注意を払って運用を行います。

### ■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。



## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2011年7月22日～2026年7月3日	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	①ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・グローバル・トラストーダイワ／フィデリティ・アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド 日本円・クラス」（以下「アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（日本円・クラス）」といいます。）の受益証券（円建） ②ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	円建ての債券
当ファンドの運用方法	<p>①主として、アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（日本円・クラス）の受益証券を通じて、アジアのハイ・イールド債券（※）に投資し、保有資産について為替ヘッジを行ない、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。</p> <p>※当ファンドにおいて、アジアのハイ・イールド債券とは、ビジネスの大半をアジアで営んでいるとフィデリティが判断する企業が発行する債券のうち、B B格相当以下（ムーディーズでB a 1以下またはS &amp; PでB B+以下もしくはフィッチでB B+以下。無格付けを含みます。）の債券をいいます。</p> <p>②当ファンドは、アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（日本円・クラス）とダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。</p> <p>③アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（日本円・クラス）では、為替ヘッジを行ない、日本円で実質的な運用を行ないます。</p>	
マザーファンドの運用方法	<p>①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。</p> <p>②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。</p>	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

Source ICE Data Indices, LLC is used with permission. ICE® is a registered trademark of ICE Data Indices, LLC or its affiliates and BofA® is a registered trademark of Bank of America Corporation licensed by Bank of America Corporation and its affiliates ("BofA"), and may not be used without BofA's prior written approval. The index data referenced herein is the property of ICE Data Indices, LLC, its affiliates ("ICE Data") and/or its third party suppliers and, along with the ICE BofA trademarks, has been licensed for use by Daiwa Asset Management Co. Ltd. ICE Data and its Third Party Suppliers accept no liability in connection with the use of such index data or marks.

See [ <https://www.daiwa-am.co.jp/funds/disclaimer/index.html> ] for a full copy of the Disclaimer.

出所：ICE Data Indices, LLC（以下「ICE データ」）

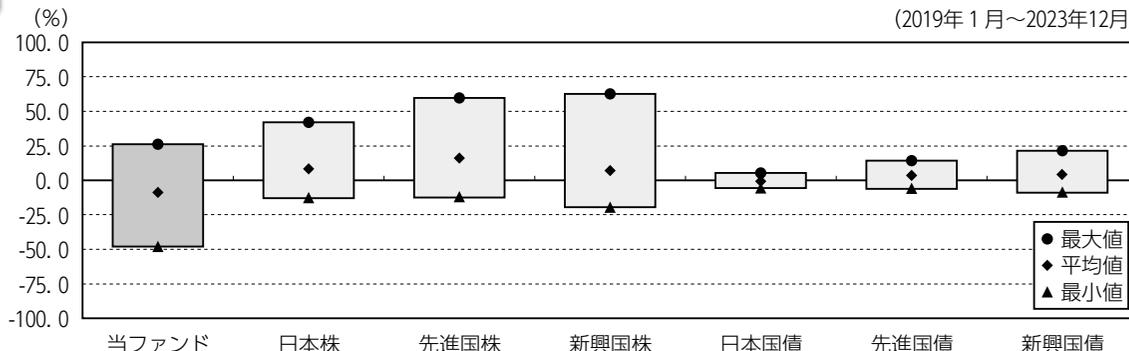
"ICE" は ICE データまたはその関連会社のサービス／トレードマークです。「BOFA®」は、Bank of America Corporation とその関連会社である「BOFA」の登録商標であり、BOFA の書面による事前承認なしに使用することはできません。本書で言及されているインデックスデータは、ICE BofA の登録商標と併せて、ICE データ、その関連会社またはその第三者供給元の所有物であり、大和アセットマネジメント株式会社に対して使用許諾されています。ICE データおよびその第三者供給元は、当該インデックスデータまたはマークの使用に関して、いかなる責任も負いません。免責事項の全文は [ <https://www.daiwa-am.co.jp/funds/disclaimer/index.html> ] をご覧ください。

In the event of any inconsistency between the English version and the Japanese version of this disclaimer, the English version shall prevail.



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2019年1月～2023年12月)



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	26.2	42.1	59.8	62.7	5.4	14.3	21.5
平均値	△ 8.7	8.4	16.2	7.2	△ 0.7	3.6	4.8
最小値	△ 47.9	△ 12.8	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。

②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。

③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる商標または登録商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる商標または登録商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドに基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[ <https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html> ] ●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用されています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



# ファンドデータ

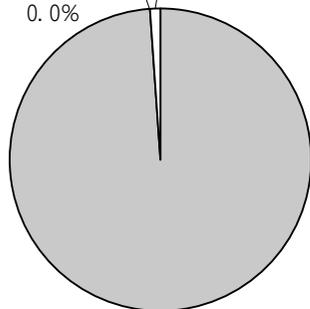
## 当ファンドの組入資産の内容

### 組入ファンド等

	比 率
アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド （日本円・クラス）	98.9%
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	0.0
その他	1.1

### 資産別配分

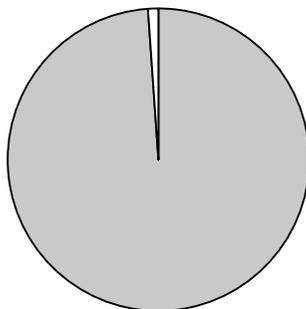
マザーファンド 0.0%  
その他 1.1%



外国投資信託証券 98.9%

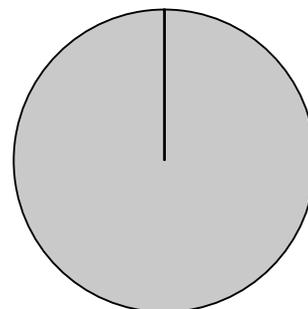
### 国別配分

その他 1.1%



ケイマン諸島 98.9%

### 通貨別配分



日本・円 100.0%

(注1) 上記データは2024年1月4日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

## 純資産等

項 目	第145期末	第146期末	第147期末	第148期末	第149期末	第150期末
	2023年8月3日	2023年9月4日	2023年10月3日	2023年11月6日	2023年12月4日	2024年1月4日
純資産総額	77,964,886円	73,377,455円	72,753,557円	69,359,883円	70,327,869円	69,439,023円
受益権総口数	224,504,218口	222,595,038口	222,643,485口	217,379,920口	217,241,255口	212,734,544口
1万円当り基準価額	3,473円	3,296円	3,268円	3,191円	3,237円	3,264円

\* 当作成期間（第145期～第150期）中における追加設定元本額は1,950,297円、同解約元本額は13,258,880円です。

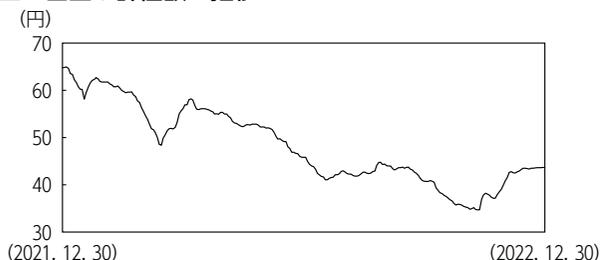
\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## 組入上位ファンドの概要

### ◆アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（日本円・クラス）

（作成対象期間 2021年12月31日～2022年12月30日） ※直近で入手可能な Financial Statements 作成期間です。

#### ■ 1口当り評価額の推移



(注 1) 1口当り評価額は、分配金を再投資したものとみなして計算しています。

(注 2) 国内の営業日の評価額を記載しています。

#### ■ 1口当りの費用の明細

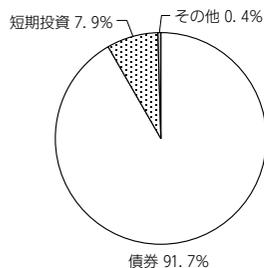
当ファンドの単位口数当りの費用のデータは取得できないため、記載しておりません。

#### ■ 組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
Melco Resorts Finance, Ltd. 5.38% due 12/04/29	米ドル	4.8%
Fortune Star BVI, Ltd. 6.85% due 07/02/24	米ドル	2.6
Network i2i, Ltd. 3.98%	米ドル	2.5
ENN Clean Energy International Investment, Ltd. 3.38% due 05/12/26	米ドル	2.2
Wynn Macau, Ltd. 5.63% due 08/26/28	米ドル	2.1
New Metro Global, Ltd. 4.80% due 12/15/24	米ドル	2.1
RKI Overseas Finance 2017 A, Ltd. 7.00%	米ドル	2.1
Wynn Macau, Ltd. 5.13% due 12/15/29	米ドル	2.0
HDFC Bank, Ltd. 3.70%	米ドル	2.0
Studio City Finance, Ltd. 5.00% due 01/15/29	米ドル	1.9
組入銘柄数		110銘柄

(注) 比率は純資産に対する比率です。

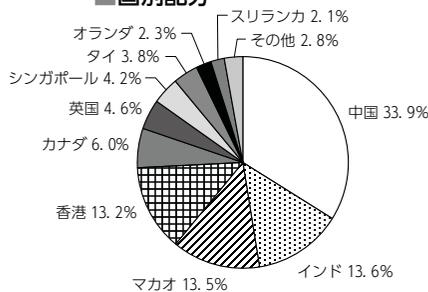
#### ■ 資産別配分



(注 1) 比率は純資産に対する比率です。

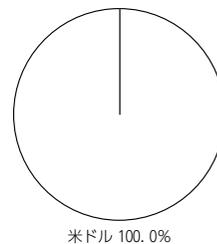
(注 2) 「その他」は純資産から債券および短期投資の評価額を差し引いたものです。

#### ■ 国別配分



(注) 比率は純資産に対する比率です。

#### ■ 通貨別配分



(注 1) 比率は債券のポートフォリオ全体に対する比率です。

(注 2) 為替ヘッジを行い、日本円で実質的な運用を行いました。

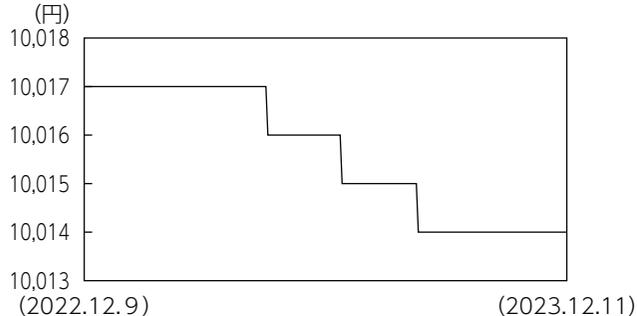
\* 組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、作成対象期間末時点のデータです。

\* 組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、「アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の運用会社等からの情報提供をもとに作成したものであり、運用報告書（全体版）の情報とは異なる場合があります。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

◆ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド（作成対象期間 2022年12月10日～2023年12月11日）

■基準価額の推移



■1万口当りの費用の明細

項	目	
売買委託手数料		-円
有価証券取引税		-
その他費用 (その他)		0 (0)
合	計	0

■組入資産

2023年12月11日現在、有価証券等の組み入れはありません。

(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものです。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

# ダイワ／フィデリティ・アジア・ ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型） ブラジル・リアル・コース（毎月分配型）

&lt;4805&gt;

追加型投信／海外／債券  
日経新聞掲載名：ジ・ハイ債レ

第145期	2023年 8 月 3 日決算	第148期	2023年11月 6 日決算
第146期	2023年 9 月 4 日決算	第149期	2023年12月 4 日決算
第147期	2023年10月 3 日決算	第150期	2024年 1 月 4 日決算

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、アジアのハイ・イールド債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第150期末	基準価額	1,883円
	純資産総額	958百万円
第145期～第150期	騰落率	△3.2%
	分配金合計	90円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先

 コールセンター 受付時間 9:00～17:00(営業日のみ)  
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

UD  
FONT

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

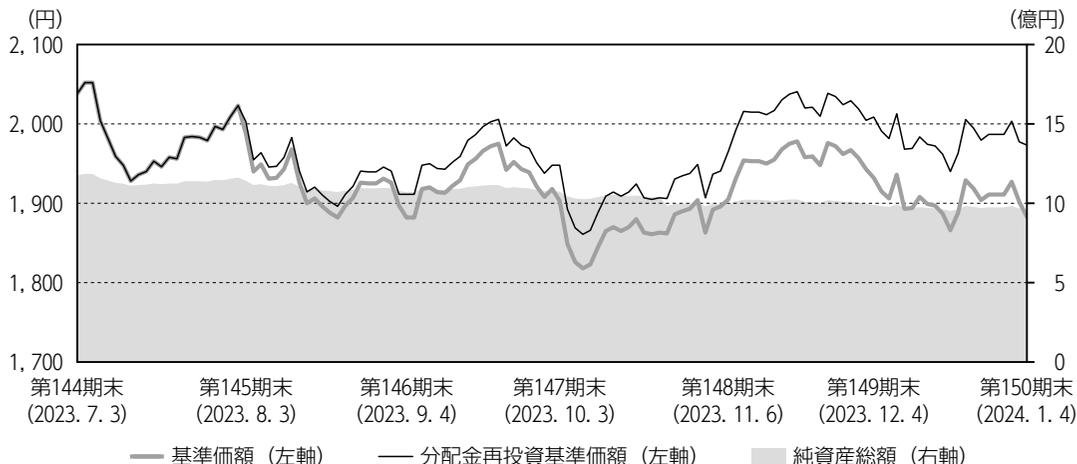
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

第145期首：2,038円

第150期末：1,883円（既払分配金90円）

騰落率：△3.2%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

主に「アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）」を通じてアジア・ハイ・イールド債券へ投資しました。アジア・ハイ・イールド債券市況は、当作成期後半にかけて回復しプラスリターンとなり

ましたが、当ファンドにおいてはブラジル・リアルが対円で下落（円高）したことなどが主なマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）：ダイワ・グローバル・トラスト・ダイワ／フィデリティ・アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド ブラジル・リアル・クラス

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	第145期～第150期 (2023. 7. 4～2024. 1. 4)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	12円	0. 602%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は1, 927円です。
（投 信 会 社）	(4)	(0. 196)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(8)	(0. 392)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(0)	(0. 015)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	12	0. 606	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

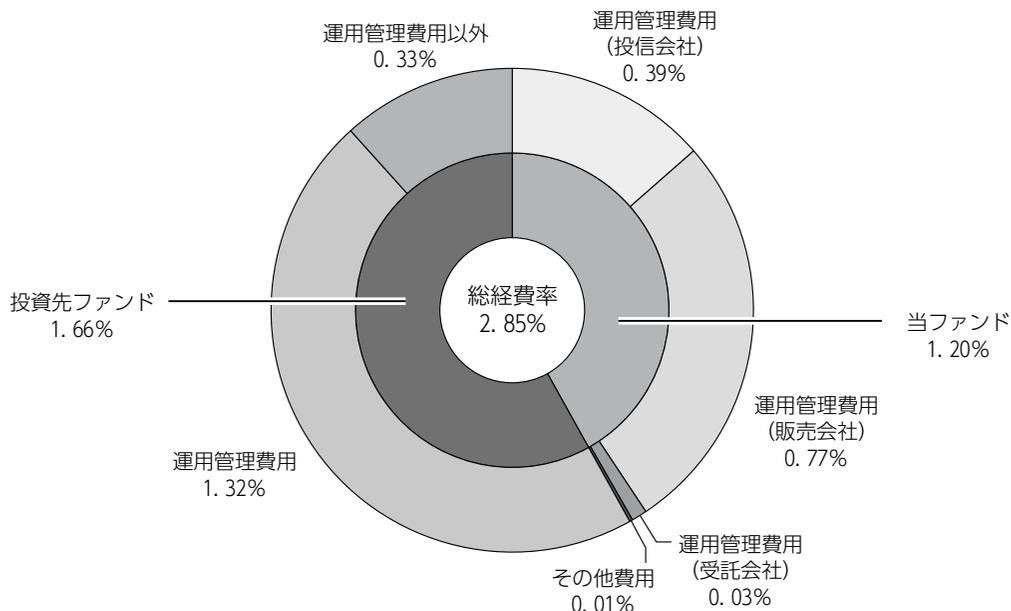
(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.85%です。



総経費率（① + ② + ③）	2.85%
①当ファンドの費用の比率	1.20%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.32%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.33%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

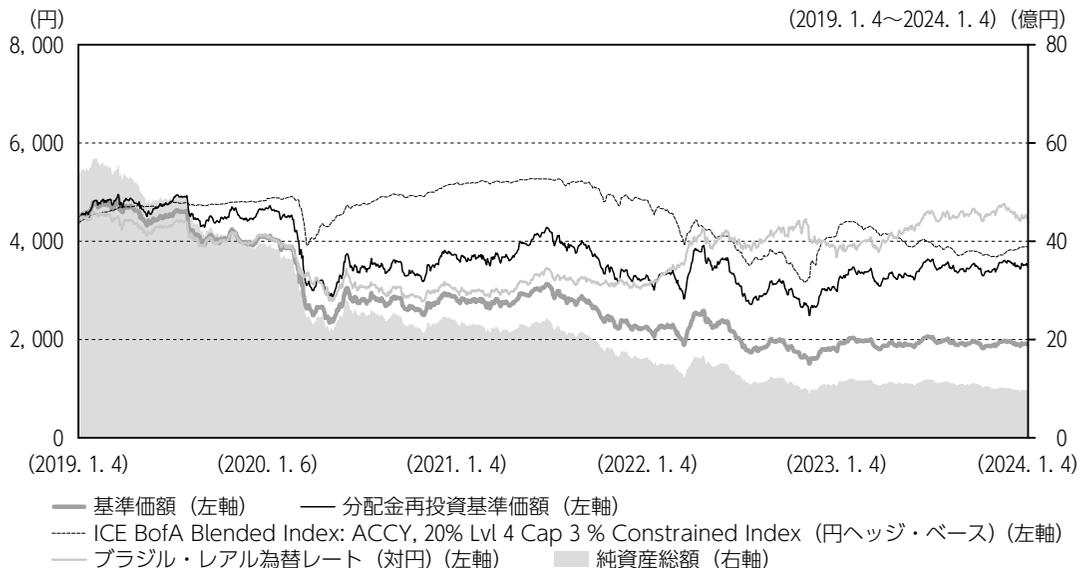
(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近 5 年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2019年1月4日の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 参考指数は ICE BofA Blended Index: ACCY, 20% Lvl 4 Cap 3% Constrained Index (円ヘッジ・ベース) およびブラジル・リアル為替レート (対円) です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

	2019年1月4日 期初	2020年1月6日 決算日	2021年1月4日 決算日	2022年1月4日 決算日	2023年1月4日 決算日	2024年1月4日 決算日
基準価額 (円)	4,390	4,080	2,858	2,266	1,771	1,883
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	600	375	300	290	180
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	6.7	△20.3	△11.2	△9.7	16.7
ICE BofA Blended Index: ACCY, 20% Lvl 4 Cap 3% Constrained Index (円ヘッジ・ベース) 騰落率 (%)	—	10.1	7.0	△6.4	△15.0	△5.3
ブラジル・リアル為替レート (対円) 騰落率 (%)	—	△7.0	△25.5	2.4	17.9	21.5
純資産総額 (百万円)	5,272	3,901	2,383	1,643	1,056	958

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) ICE BofA Blended Index: ACCY, 20% Lvl 4 Cap 3% Constrained Index (円ヘッジ・ベース) は、ICE BofA Blended Index: ACCY, 20% Lvl 4 Cap 3% Constrained Index のパフォーマンスからヘッジコストを日次で差し引き大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売相場の中値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

## 投資環境について

(2023. 7. 4 ~ 2024. 1. 4)

### ■アジア・ハイ・イールド債券市況

アジア・ハイ・イールド債券市況は上昇しました。

アジア・ハイ・イールド債券市況は、当作成期首から2023年8月下旬にかけて、中国の不動産大手企業の巨額赤字決算などを背景に中国で不動産信用問題が再燃したことや、主要経済指標が軟調となったことによる中国景気の先行き不透明感から、大きく下落しました。10月下旬にかけては、当局による追加の景気刺激策への期待などから一部値を戻す場面も見られたものの、米国長期金利の上昇や中東情勢の緊迫化を受けて地政学リスクが拡大したことが、投資家心理の悪化に繋がりました。その後は、習近平国家主席の訪米による米中首脳会談を受けて米中関係の改善期待が高まったことや、中国政府および金融当局による支援策への期待を背景に、当作成期末にかけて上昇しました。アジア・ハイ・イールド債券市場のスプレッド（国債との利回り格差）は、当作成期を通して見ると縮小しました。中国の景気減速懸念や米中関係の緊張継続など、不確実性が材料視されながらも、世界的な投資家心理の改善の動きの波及が見られました。トータル・リターン（現地通貨ベース）は、プラスとなりました。

### ■為替相場

ブラジル・リアルは対円で下落しました。

当作成期首から2023年10月上旬にかけて、ブラジル・リアルは対円でボックス圏で推移しました。11月中旬にかけては、ブラジルで複数の国会議員が2024年の財政規律を重視する発言を行ったことから、財政健全化期待が高まり大きく上昇（円安）しました。その後は、格付会社のS & Pグローバル・レーティングがブラジルの国債格付けをBB-からBBに引き上げたことが好感され、ブラジル・リアルは対米ドルで上昇しましたが、日銀がマイナス金利を早期に解除するとの思惑から、当作成期末にかけて、対円では下落しました。

### ■短期金利市況

ブラジル中央銀行は、政策金利を引き下げました。米国では、FOMC（米国連邦公開市場委員会）で政策金利が引き上げられました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

主に「アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）」への投資割合を高位に保つことによって、アジアのハイ・イールド債券からの収益を享受するとともに、ブラジル・リアルの為替値上がり益の獲得をめざします。

### ■アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

米ドル建てのハイ・イールド債券に投資し、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行います。当ファンドの運用にあたっては、今後も銘柄やセクターの分散を図りながら高水準の利息収入の獲得をめざします。また、銘柄選択の際には、特に資金調達コストの動向、企業マネジメントのあり方等に注意を払って運用を行います。

### ■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2023. 7. 4 ~ 2024. 1. 4)

### ■当ファンド

当ファンドは、「アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）」と「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じて「アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）」への投資割合を高位に維持しました。

### ■アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

米ドル建てのハイ・イールド債券に投資し、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行いました。これまで同様に分散を図りながら、流動性とインカム（利回り収益）を重視した運用を行いました。

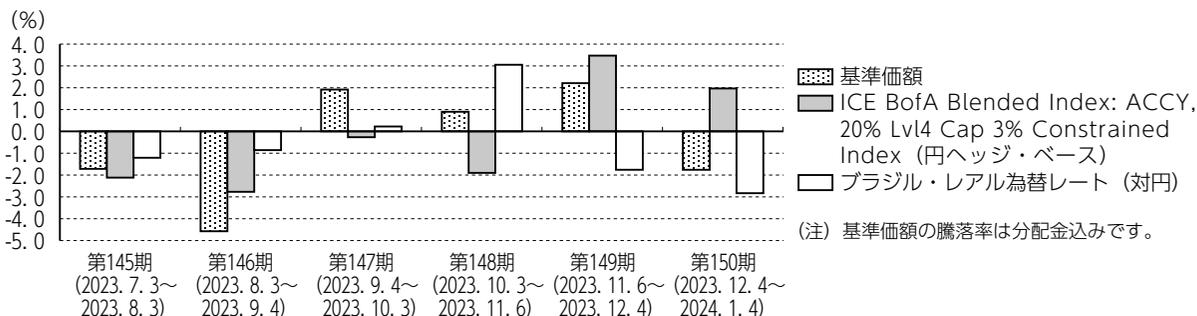
### ■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期	第150期
	2023年7月4日 ～2023年8月3日	2023年8月4日 ～2023年9月4日	2023年9月5日 ～2023年10月3日	2023年10月4日 ～2023年11月6日	2023年11月7日 ～2023年12月4日	2023年12月5日 ～2024年1月4日
当期分配金(税込み) (円)	15	15	15	15	15	15
対基準価額比率 (%)	0.75	0.79	0.78	0.78	0.77	0.79
当期の収益 (円)	15	15	15	15	15	15
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	606	610	614	617	620	620

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計画上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

## ■収益分配金の計算過程（1万口当たり）

項 目	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期	第150期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 21.39円	✓ 19.25円	✓ 19.26円	✓ 18.11円	✓ 17.56円	✓ 15.30円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	328.91	329.31	329.76	330.20	330.69	331.34
(d) 分配準備積立金	270.72	276.72	280.52	284.35	286.98	288.90
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	621.03	625.29	629.56	632.67	635.24	635.55
(f) 分配金	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	606.03	610.29	614.56	617.67	620.24	620.55

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

主に「アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）」への投資割合を高位に保つことによって、アジアのハイ・イールド債券からの収益を享受するとともに、ブラジル・リアルの為替値上がり益の獲得をめざします。

### ■アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

米ドル建てのハイ・イールド債券に投資し、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行います。当ファンドの運用にあたっては、今後も銘柄やセクターの分散を図りながら高水準の利息収入の獲得をめざします。また、銘柄選択の際には、特に資金調達コストの動向、企業マネジメントのあり方等に注意を払って運用を行います。

### ■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。



## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2011年7月22日～2026年7月3日	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	①ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・グローバル・トラストーダイワ／フィデリティ・アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド ブラジル・レアル・クラス」（以下「アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）」といいます。）の受益証券（円建） ②ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	円建ての債券
当ファンドの運用方法	<p>①主として、アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）の受益証券を通じて、アジアのハイ・イールド債券（※）に投資し、保有資産について為替取引を行ない、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。</p> <p>※当ファンドにおいて、アジアのハイ・イールド債券とは、ビジネスの大半をアジアで営んでいるとフィデリティが判断する企業が発行する債券のうち、B B格相当以下（ムーディーズでB a 1以下またはS &amp; PでB B+以下もしくはフィッチでB B+以下。無格付けを含みます。）の債券をいいます。</p> <p>②当ファンドは、アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）とダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。</p> <p>③アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）では、為替取引を活用して、ブラジル・レアルで実質的な運用を行ないます。</p>	
マザーファンドの運用方法	<p>①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。</p> <p>②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。</p>	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

Source ICE Data Indices, LLC is used with permission. ICE® is a registered trademark of ICE Data Indices, LLC or its affiliates and BofA® is a registered trademark of Bank of America Corporation licensed by Bank of America Corporation and its affiliates ("BofA"), and may not be used without BofA's prior written approval. The index data referenced herein is the property of ICE Data Indices, LLC, its affiliates ("ICE Data") and/or its third party suppliers and, along with the ICE BofA trademarks, has been licensed for use by Daiwa Asset Management Co. Ltd. ICE Data and its Third Party Suppliers accept no liability in connection with the use of such index data or marks.

See [ <https://www.daiwa-am.co.jp/funds/disclaimer/index.html> ] for a full copy of the Disclaimer.

出所：ICE Data Indices, LLC（以下「ICE データ」）

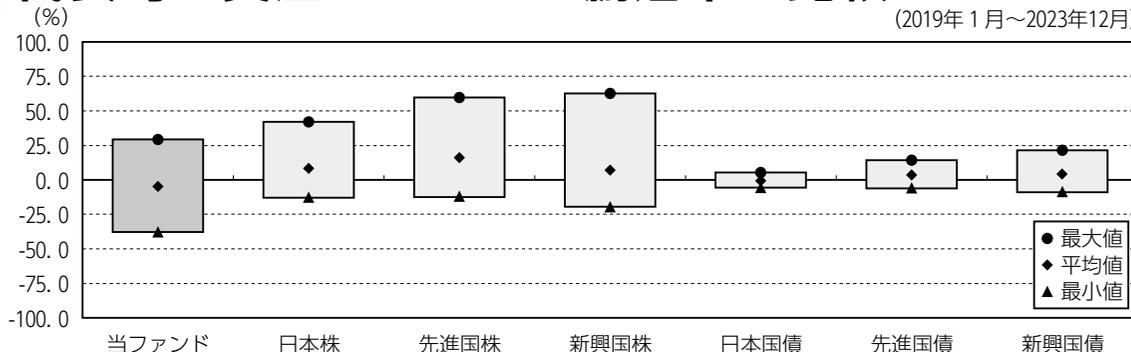
"ICE" は ICE データまたはその関連会社のサービス／トレードマークです。「BOFA®」は、Bank of America Corporation とその関連会社である「BOFA」の登録商標であり、BOFA の書面による事前承認なしに使用することはできません。本書で言及されているインデックスデータは、ICE BofA の登録商標と併せて、ICE データ、その関連会社またはその第三者供給元の所有物であり、大和アセットマネジメント株式会社に対して使用許諾されています。ICE データおよびその第三者供給元は、当該インデックスデータまたはマークの使用に関して、いかなる責任も負いません。免責事項の全文は [ <https://www.daiwa-am.co.jp/funds/disclaimer/index.html> ] をご覧ください。

In the event of any inconsistency between the English version and the Japanese version of this disclaimer, the English version shall prevail.



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2019年1月～2023年12月)



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	29.2	42.1	59.8	62.7	5.4	14.3	21.5
平均値	△ 4.7	8.4	16.2	7.2	△ 0.7	3.6	4.8
最小値	△ 37.6	△ 12.8	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。

②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。

③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマーゼィング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマーゼィング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる商標または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる商標または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマーゼィング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドに基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。〔<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>〕●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマーゼィング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



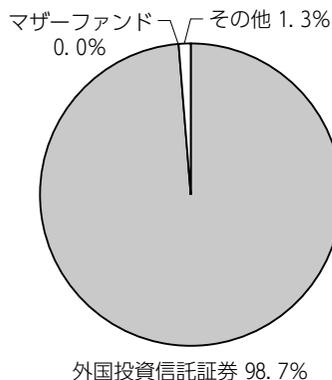
# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

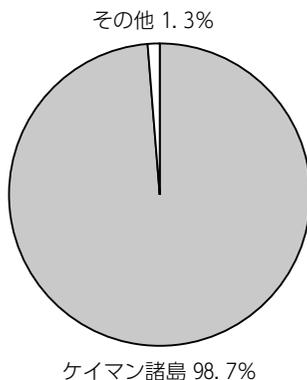
### 組入ファンド等

	比 率
アジア・ハイ・イールド・債券・ファンド （ブラジル・リアル・クラス）	98.7%
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	0.0
その他	1.3

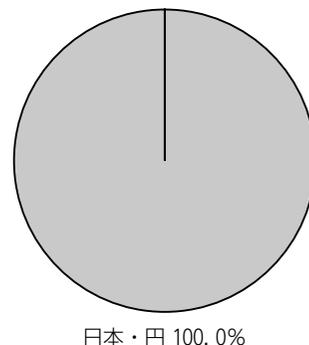
### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



(注1) 上記データは2024年1月4日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

\*当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

## 純資産等

項 目	第145期末	第146期末	第147期末	第148期末	第149期末	第150期末
	2023年8月3日	2023年9月4日	2023年10月3日	2023年11月6日	2023年12月4日	2024年1月4日
純資産総額	1,141,707,898円	1,069,536,203円	1,072,207,103円	997,615,117円	989,466,157円	958,413,844円
受益権総口数	5,743,269,120口	5,683,555,881口	5,635,135,996口	5,236,716,775口	5,120,791,041口	5,088,781,517口
1万口当り基準価額	1,988円	1,882円	1,903円	1,905円	1,932円	1,883円

\* 当作成期間（第145期～第150期）中における追加設定元本額は54,552,884円、同解約元本額は734,966,194円です。

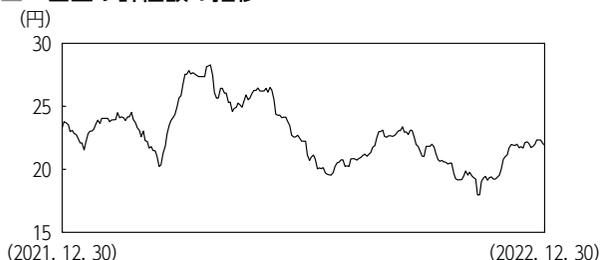
\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## 組入上位ファンドの概要

### ◆アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

（作成対象期間 2021年12月31日～2022年12月30日） ※直近で入手可能な Financial Statements 作成期間です。

#### ■ 1口当り評価額の推移



(注 1) 1口当り評価額は、分配金を再投資したものとみなして計算しています。

(注 2) 国内の営業日の評価額を記載しています。

#### ■ 1口当りの費用の明細

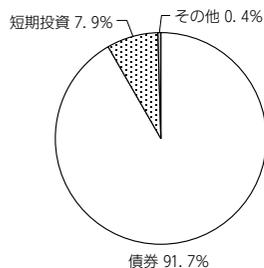
当ファンドの単位口数当りの費用のデータは取得できないため、記載しておりません。

#### ■ 組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
Melco Resorts Finance, Ltd. 5.38% due 12/04/29	米ドル	4.8%
Fortune Star BVI, Ltd. 6.85% due 07/02/24	米ドル	2.6
Network i2i, Ltd. 3.98%	米ドル	2.5
ENN Clean Energy International Investment, Ltd. 3.38% due 05/12/26	米ドル	2.2
Wynn Macau, Ltd. 5.63% due 08/26/28	米ドル	2.1
New Metro Global, Ltd. 4.80% due 12/15/24	米ドル	2.1
RKI Overseas Finance 2017 A, Ltd. 7.00%	米ドル	2.1
Wynn Macau, Ltd. 5.13% due 12/15/29	米ドル	2.0
HDFC Bank, Ltd. 3.70%	米ドル	2.0
Studio City Finance, Ltd. 5.00% due 01/15/29	米ドル	1.9
組入銘柄数		110銘柄

(注) 比率は純資産に対する比率です。

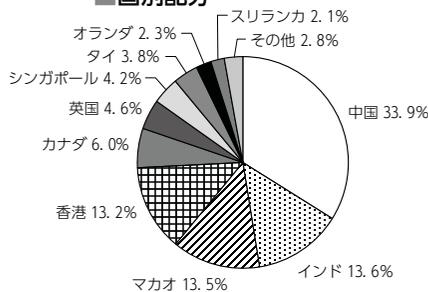
#### ■ 資産別配分



(注 1) 比率は純資産に対する比率です。

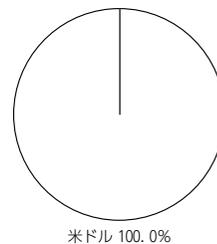
(注 2) 「その他」は純資産から債券および短期投資の評価額を差し引いたものです。

#### ■ 国別配分



(注) 比率は純資産に対する比率です。

#### ■ 通貨別配分



(注 1) 比率は債券のポートフォリオ全体に対する比率です。

(注 2) 為替取引を活用して、ブラジル・リアルで実質的な運用を行いました。

\* 組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、作成対象期間末時点のデータです。

\* 組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、「アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の運用会社等からの情報提供をもとに作成したものであり、運用報告書（全体版）の情報とは異なる場合があります。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

◆ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

14ページをご参照ください。

# ダイワ／フィデリティ・アジア・ ハイ・イールド債券ファンド（通貨選択型） アジア通貨・コース（毎月分配型）

&lt;4806&gt;

追加型投信／海外／債券  
日経新聞掲載名：ア・ハイ債ア

第145期	2023年 8 月 3 日決算	第148期	2023年11月 6 日決算
第146期	2023年 9 月 4 日決算	第149期	2023年12月 4 日決算
第147期	2023年10月 3 日決算	第150期	2024年 1 月 4 日決算

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、アジアのハイ・イールド債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第150期末	基準価額	3,365円
	純資産総額	398百万円
第145期～第150期	騰落率	△5.2%
	分配金合計	240円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先

 コールセンター 受付時間 9:00～17:00(営業日のみ)  
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

UD  
FONT

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

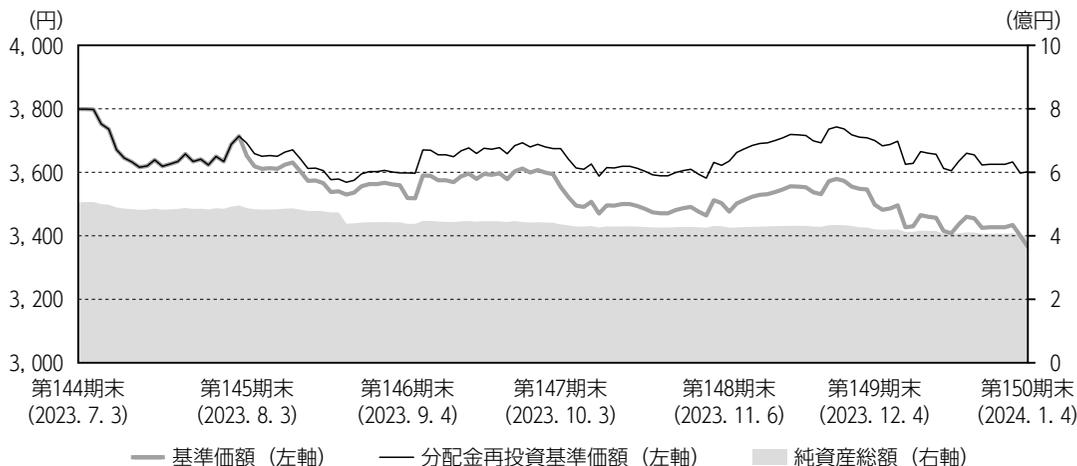
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

### 基準価額・騰落率

第145期首：3,799円

第150期末：3,365円（既払分配金240円）

騰落率：△5.2%（分配金再投資ベース）

### 基準価額の変動要因

主に「アジア・ハイ・イールド・債券・ファンド（アジア通貨・クラス）」を通じてアジア・ハイ・イールド債券へ投資しました。アジア・ハイ・イールド債券市場は、当作成期後半にかけて回復しプラスリターンとなりました

が、当ファンドにおいて為替取引の対象となるアジア通貨（中国・人民元、インド・ルピー、インドネシア・ルピア）が対円で総じて下落（円高）したことなどが主なマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※アジア・ハイ・イールド・債券・ファンド（アジア通貨・クラス）：ダイワ・グローバル・トラストーダイワ／フィデリティ・アジア・ハイ・イールド・債券・ファンド アジア通貨・クラス

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	第145期～第150期 (2023. 7. 4～2024. 1. 4)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	21円	0. 605%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>当作成期中の平均基準価額は3, 549円です。</b>
（投 信 会 社）	(7)	(0. 196)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(14)	(0. 393)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0. 016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	22	0. 608	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

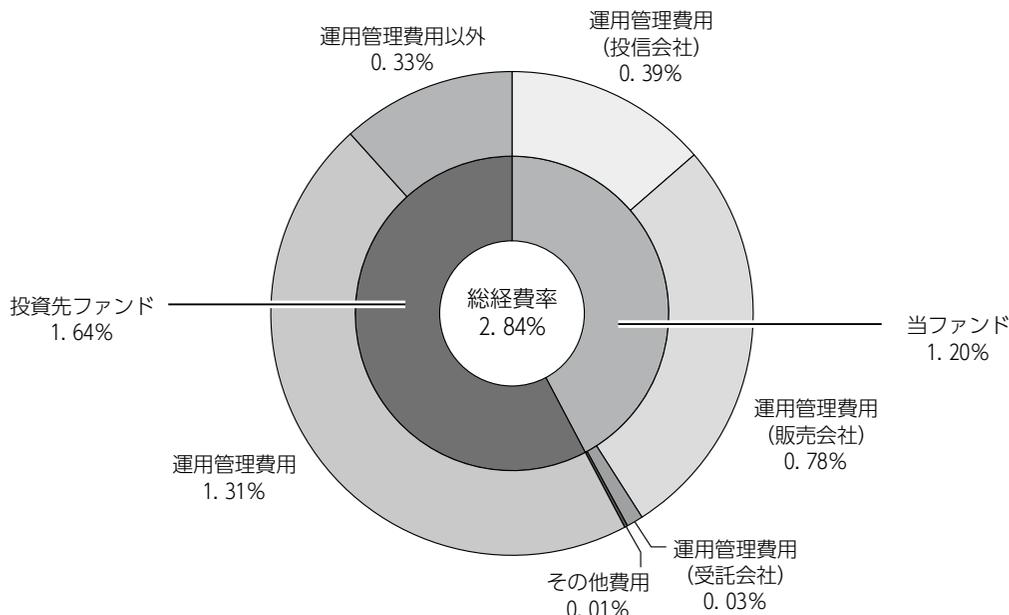
(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.84%です。



総経費率 ( ① + ② + ③ )	2.84%
①当ファンドの費用の比率	1.20%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.31%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.33%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

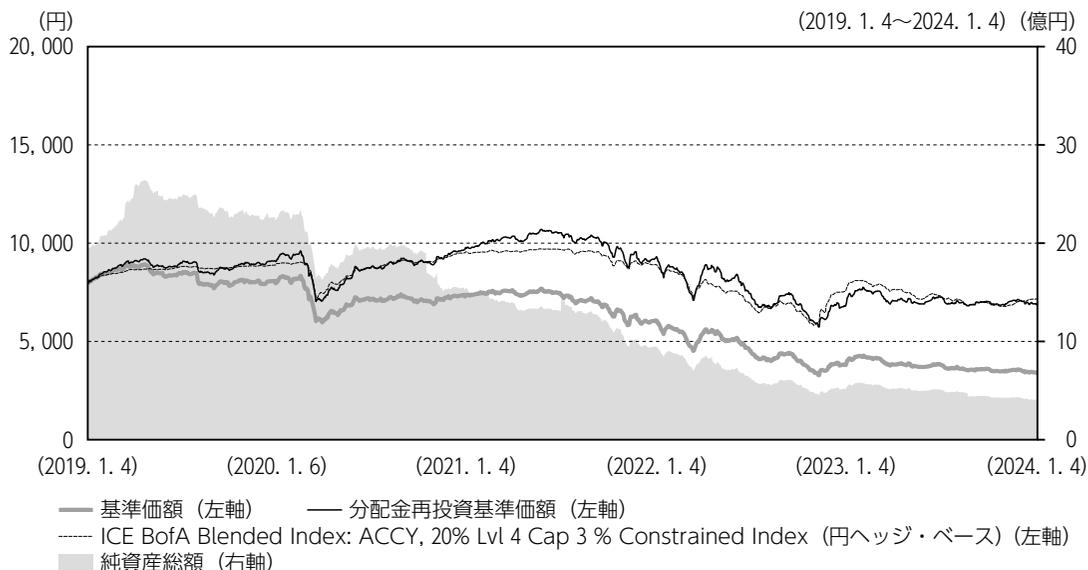
(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近 5 年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2019年1月4日の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 参考指数は ICE BofA Blended Index: ACCY, 20% Lvl 4 Cap 3% Constrained Index (円ヘッジ・ベース) です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

	2019年1月4日 期初	2020年1月6日 決算日	2021年1月4日 決算日	2022年1月4日 決算日	2023年1月4日 決算日	2024年1月4日 決算日
基準価額 (円)	8,076	7,959	7,285	6,021	3,795	3,365
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	1,080	1,080	1,020	700	480
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	12.3	6.6	△4.4	△26.3	0.9
ICE BofA Blended Index: ACCY, 20% Lvl 4 Cap 3% Constrained Index (円ヘッジ・ベース) 騰落率 (%)	—	10.1	7.0	△6.4	△15.0	△5.3
純資産総額 (百万円)	1,959	2,231	1,523	940	514	398

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) ICE BofA Blended Index: ACCY, 20% Lvl 4 Cap 3% Constrained Index (円ヘッジ・ベース) は、ICE BofA Blended Index: ACCY, 20% Lvl 4 Cap 3% Constrained Index のパフォーマンスからヘッジコストを日次で差し引き大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

## 投資環境について

(2023.7.4～2024.1.4)

### ■アジア・ハイ・イールド債券市況

アジア・ハイ・イールド債券市況は上昇しました。

アジア・ハイ・イールド債券市況は、当作成期首から2023年8月下旬にかけて、中国の不動産大手企業の巨額赤字決算などを背景に中国で不動産信用問題が再燃したことや、主要経済指標が軟調となったことによる中国景気の先行き不透明感から、大きく下落しました。10月下旬にかけては、当局による追加の景気刺激策への期待などから一部値を戻す場面も見られたものの、米国長期金利の上昇や中東情勢の緊迫化を受けて地政学リスクが拡大したことが、投資家心理の悪化に繋がりました。その後は、習近平国家主席の訪米による米中首脳会談を受けて米中関係の改善期待が高まったことや、中国政府および金融当局による支援策への期待を背景に、当作成期末にかけて上昇しました。アジア・ハイ・イールド債券市場のスプレッド（国債との利回り格差）は、当作成期を通して見ると縮小しました。中国の景気減速懸念や米中関係の緊張継続など、不確実性が材料視されながらも、世界的な投資家心理の改善の動きの波及が見られました。トータル・リターン（現地通貨ベース）は、プラスとなりました。

### ■為替相場

アジア通貨は対円で下落しました。

当作成期首より2023年11月半ば頃にかけては、主に、米国金利の上昇を背景に日米金利差の拡大が意識され米ドル円為替相場が上昇（円安）する中で、クロス円（米ドル以外の対円為替相場）全般に円安傾向となり、アジア通貨は対円で上昇しました。その後、当作成期末にかけては、米国金利の低下により様相が反転し、アジア通貨は対円で下落しました。

### ■短期金利市況

インド準備銀行は政策金利を据え置きました。インドネシア中央銀行は政策金利を引き上げました。また、中国の短期金利は上昇しました。米国では、FOMC（米国連邦公開市場委員会）で政策金利が引き上げられました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

主に「アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（アジア通貨・クラス）」への投資割合を高位に保つことによって、アジアのハイ・イールド債券からの収益を享受するとともに、アジア通貨の為替値上がり益の獲得をめざします。

### ■アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（アジア通貨・クラス）

米ドル建てのハイ・イールド債券に投資し、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／アジア通貨買いの為替取引を行います。当ファンドの運用にあたっては、今後も銘柄やセクターの分散を図りながら高水準の利息収入の獲得をめざします。また、銘柄選択の際には、特に資金調達コストの動向、企業マネジメントのあり方等に注意を払って運用を行います。

### ■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2023. 7. 4 ~ 2024. 1. 4)

### ■当ファンド

当ファンドは、「アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（アジア通貨・クラス）」と「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じて「アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（アジア通貨・クラス）」への投資割合を高位に維持しました。

### ■アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（アジア通貨・クラス）

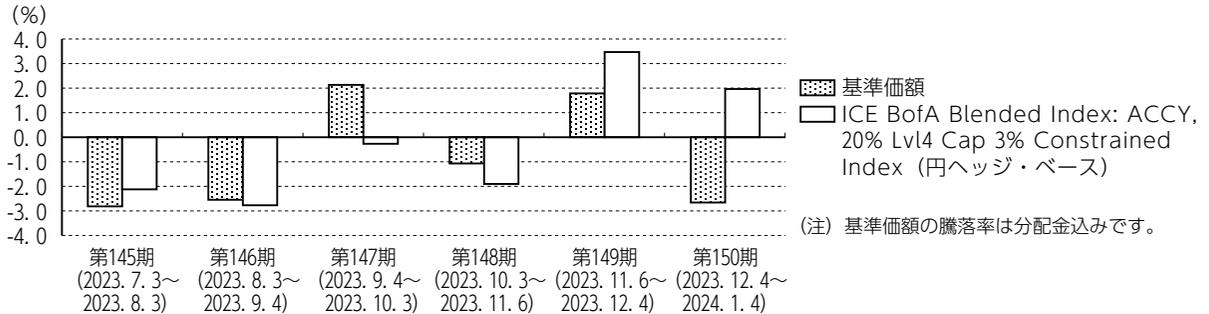
米ドル建てのハイ・イールド債券に投資し、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／アジア通貨（中国・人民元、インド・ルピー、インドネシア・ルピアにおおむね均等）買いの為替取引を行いました。これまで同様に分散を図りながら、流動性とインカム（利回り収益）を重視した運用を行いました。

### ■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。  
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。  
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期	第150期
	2023年7月4日 ～2023年8月3日	2023年8月4日 ～2023年9月4日	2023年9月5日 ～2023年10月3日	2023年10月4日 ～2023年11月6日	2023年11月7日 ～2023年12月4日	2023年12月5日 ～2024年1月4日
<b>当期分配金(税込み) (円)</b>	<b>40</b>	<b>40</b>	<b>40</b>	<b>40</b>	<b>40</b>	<b>40</b>
対基準価額比率 (%)	1.08	1.12	1.11	1.14	1.13	1.17
当期の収益 (円)	18	15	17	15	17	14
当期の収益以外 (円)	21	24	22	24	22	25
翌期繰越分配対象額 (円)	1,079	1,055	1,032	1,007	985	960

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

## ■収益分配金の計算過程（1万口当たり）

項 目	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期	第150期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 18.33円	✓ 15.22円	✓ 17.54円	✓ 15.01円	✓ 17.78円	✓ 14.45円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 1,101.62	✓ 1,079.97	✓ 1,055.20	✓ 1,032.75	✓ 1,007.78	✓ 985.56
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,119.96	1,095.19	1,072.74	1,047.77	1,025.56	1,000.01
(f) 分配金	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,079.96	1,055.19	1,032.74	1,007.77	985.56	960.01

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

主に「アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（アジア通貨・クラス）」への投資割合を高位に保つことによって、アジアのハイ・イールド債券からの収益を享受するとともに、アジア通貨の為替値上がり益の獲得をめざします。

### ■アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（アジア通貨・クラス）

米ドル建てのハイ・イールド債券に投資し、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／アジア通貨買いの為替取引を行います。当ファンドの運用にあたっては、今後も銘柄やセクターの分散を図りながら高水準の利息収入の獲得をめざします。また、銘柄選択の際には、特に資金調達コストの動向、企業マネジメントのあり方等に注意を払って運用を行います。

### ■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。



## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2011年7月22日～2026年7月3日	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	①ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・グローバル・トラストーダイワ／フィデリティ・アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド アジア通貨・クラス」（以下「アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（アジア通貨・クラス）」といいます。）の受益証券（円建） ②ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	円建ての債券
当ファンドの運用方法	<p>①主として、アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（アジア通貨・クラス）の受益証券を通じて、アジアのハイ・イールド債券（※）に投資し、保有資産について為替取引を行ない、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。</p> <p>※当ファンドにおいて、アジアのハイ・イールド債券とは、ビジネスの大半をアジアで営んでいるとフィデリティが判断する企業が発行する債券のうち、B B格相当以下（ムーディーズでB a 1以下またはS &amp; PでB B+以下もしくはフィッチでB B+以下。無格付けを含みます。）の債券をいいます。</p> <p>②当ファンドは、アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（アジア通貨・クラス）とダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（アジア通貨・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。</p> <p>③アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（アジア通貨・クラス）では、為替取引を活用して、アジア通貨（中国元、インド・ルピー、インドネシア・ルピアにおおむね均等）で実質的な運用を行ないます。</p>	
マザーファンドの運用方法	<p>①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。</p> <p>②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。</p>	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

Source ICE Data Indices, LLC is used with permission. ICE® is a registered trademark of ICE Data Indices, LLC or its affiliates and BofA® is a registered trademark of Bank of America Corporation licensed by Bank of America Corporation and its affiliates ("BofA"), and may not be used without BofA's prior written approval. The index data referenced herein is the property of ICE Data Indices, LLC, its affiliates ("ICE Data") and/or its third party suppliers and, along with the ICE BofA trademarks, has been licensed for use by Daiwa Asset Management Co. Ltd. ICE Data and its Third Party Suppliers accept no liability in connection with the use of such index data or marks.

See [ <https://www.daiwa-am.co.jp/funds/disclaimer/index.html> ] for a full copy of the Disclaimer.

出所：ICE Data Indices, LLC（以下「ICE データ」）

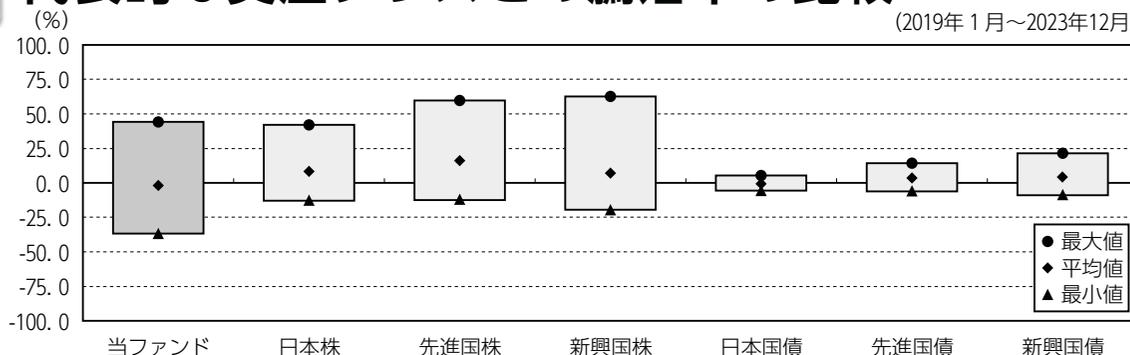
"ICE" は ICE データまたはその関連会社のサービス／トレードマークです。[BOFA®] は、Bank of America Corporation とその関連会社である「BOFA」の登録商標であり、BOFA の書面による事前承認なしに使用することはできません。本書で言及されているインデックスデータは、ICE BofA の登録商標と併せて、ICE データ、その関連会社またはその第三者供給元の所有物であり、大和アセットマネジメント株式会社に対して使用許諾されています。ICE データおよびその第三者供給元は、当該インデックスデータまたはマークの使用に関して、いかなる責任も負いません。免責事項の全文は [ <https://www.daiwa-am.co.jp/funds/disclaimer/index.html> ] をご覧ください。

In the event of any inconsistency between the English version and the Japanese version of this disclaimer, the English version shall prevail.



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2019年1月～2023年12月)



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	44.2	42.1	59.8	62.7	5.4	14.3	21.5
平均値	△ 1.8	8.4	16.2	7.2	△ 0.7	3.6	4.8
最小値	△ 36.6	△ 12.8	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。

②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。

③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマーゼィング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマーゼィング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマーゼィング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドに基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。〔<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>〕●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマーゼィング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



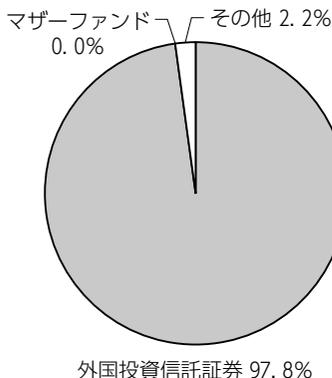
## ファンドデータ

### 当ファンドの組入資産の内容

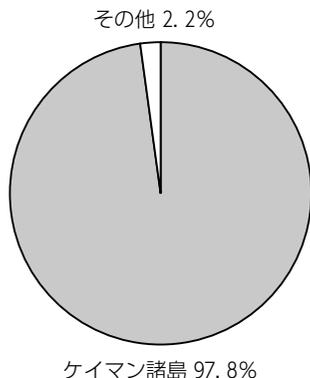
#### 組入ファンド等

	比 率
アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (アジア通貨・クラス)	97.8%
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	0.0
その他	2.2

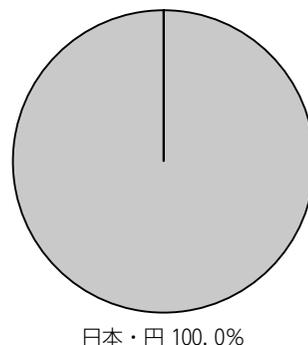
#### 資産別配分



#### 国別配分



#### 通貨別配分



(注1) 上記データは2024年1月4日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

### 純資産等

項 目	第145期末	第146期末	第147期末	第148期末	第149期末	第150期末
	2023年8月3日	2023年9月4日	2023年10月3日	2023年11月6日	2023年12月4日	2024年1月4日
純資産総額	487,117,062円	437,321,422円	435,917,738円	425,475,023円	420,305,569円	398,155,699円
受益権総口数	1,334,015,267口	1,242,898,214口	1,226,537,519口	1,223,902,127口	1,201,656,854口	1,183,139,202口
1万円当り基準価額	3,652円	3,519円	3,554円	3,476円	3,498円	3,365円

\* 当作成期間（第145期～第150期）中における追加設定元本額は22,452,636円、同解約元本額は169,463,456円です。

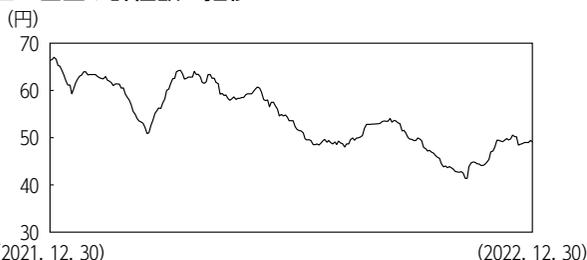
\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## 組入上位ファンドの概要

### ◆アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（アジア通貨・クラス）

（作成対象期間 2021年12月31日～2022年12月30日） ※直近で入手可能な Financial Statements 作成期間です。

#### ■ 1口当り評価額の推移



(注 1) 1口当り評価額は、分配金を再投資したものとみなして計算しています。  
 (注 2) 国内の営業日の評価額を記載しています。

#### ■ 1口当りの費用の明細

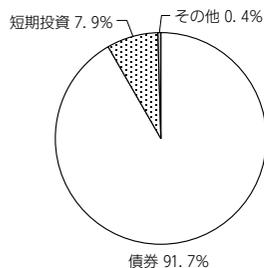
当ファンドの単位口数当りの費用のデータは取得できないため、記載しておりません。

#### ■ 組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
Melco Resorts Finance, Ltd. 5.38% due 12/04/29	米ドル	4.8%
Fortune Star BVI, Ltd. 6.85% due 07/02/24	米ドル	2.6
Network i2i, Ltd. 3.98%	米ドル	2.5
ENN Clean Energy International Investment, Ltd. 3.38% due 05/12/26	米ドル	2.2
Wynn Macau, Ltd. 5.63% due 08/26/28	米ドル	2.1
New Metro Global, Ltd. 4.80% due 12/15/24	米ドル	2.1
RKI Overseas Finance 2017 A, Ltd. 7.00%	米ドル	2.1
Wynn Macau, Ltd. 5.13% due 12/15/29	米ドル	2.0
HDFC Bank, Ltd. 3.70%	米ドル	2.0
Studio City Finance, Ltd. 5.00% due 01/15/29	米ドル	1.9
組入銘柄数		110銘柄

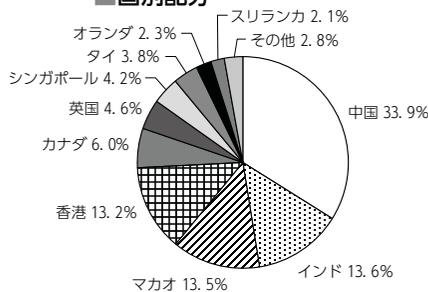
(注) 比率は純資産に対する比率です。

#### ■ 資産別配分



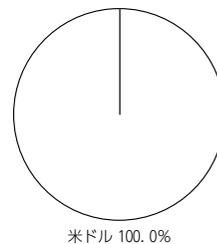
(注 1) 比率は純資産に対する比率です。  
 (注 2) 「その他」は純資産から債券および短期投資の評価額を差し引いたものです。

#### ■ 国別配分



(注) 比率は純資産に対する比率です。

#### ■ 通貨別配分



(注 1) 比率は債券のポートフォリオ全体に対する比率です。  
 (注 2) 為替取引を活用して、アジア通貨（中国・人民元、インド・ルピー、インドネシア・ルピアにおおむね均等）で実質的な運用を行いました。

\* 組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、作成対象期間末時点のデータです。

\* 組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、「アジア・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の運用会社等からの情報提供をもとに作成したものであり、運用報告書（全体版）の情報とは異なる場合があります。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

◆ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

14ページをご参照ください。